

第3学年合唱発表会

11月30日 石橋中学校体育館

11月30日（火）に「第3学年合唱発表会」が開催されました。今年度は3年生のみの実施となり、限られた時間の中で3年生はクラスの仲間とともに曲の意味や表現方法などを追究しました。どのクラスも「賞」という枠を越えて、一生の宝物が出来たのではないかと思います。また、練習では後輩が練習風景を見学に来るなど、石橋中の伝統を繋げるために3年生はクラス合唱の練習の仕方を示していました。発表会の様子を紹介します。

No.1 4組 「走る川」 指揮：井口泰斗 伴奏：古内香帆



<曲紹介>

私たちが想いを込めて歌う曲は、「走る川」です。この「走る川」の「川」は、子どもと大人の狭間を生きる中学時代の3年間を例えています。皆さんに注目してほしいところは、激しいリズムや目まぐるしく変わる強弱、皆の歌っている表情です。毎日、全力で練習を重ね、時にはぶつかり合いながらも、全員で心を一にし、最高の合唱を作りあげることができました。コロナ禍でも、皆で合唱できることに感謝をし、後悔のないよう、3年4組全員で、全力で歌います。

No.2 6組 「手紙」 指揮：山口 礼 伴奏：安曇風羽



<曲紹介>

「手紙」は私たちにとって「悩みと本気で向き合うことで、幸せな人生をつくる曲」になりました。私たちもこの曲の15歳のように、悩み苦しむことがたくさんあります。その悩みから逃げずに、本気で向き合い、30歳の未来の自分に宛てて手紙を書きました。その手紙をもとに、自分の悩みにも、仲間の悩みにも向き合っ、涙を流しながらこの合唱を創り上げました。だからこそ、悩みがあってもいい、たくさん悩んで、自分で抱えきれなかったら、仲間に頼っていいのだとわかりました。そして、今では6組が自分の弱さもさらけ出せる本当の仲間になりました。そんな私たちが歌う合唱が、今、悩み苦しむ人のエールになるように歌います。どうぞお聴きください。

No.3 1組 「正解」 指揮：石崎達也 伴奏：若松芽奈



<曲紹介>

「正解」はRADWINPSの野田洋二郎さんが作曲しました。将来がどうなるのか、何が正解なのか分からない時代の、今の若者に向けた曲です。学校という正しい答えがある世界から、自分で正しい答えを考えて、見つけていかななくてはいけない世界に羽ばたこうとしている私たちにぴったりな曲です。歌詞には何度も「答えのある問いばかり」という言葉が出てきますが、不安な気持ちから徐々に自分に自信をもって歩きだそうというラストにご注目ください。1組にとっての「正解」を探し、未来に向かっていきたい。卒業に近づく私たちの思いが伝わるよう、心を込めて歌います。

No.4 2組 「未来」 指揮：岡田春樹 伴奏：小村美空



<曲紹介>

私たち3年2組は、「未来」を歌います。この曲は、クラス全員が1つの目標に向かって、未来へと、大空に羽ばたいていく様子を歌っている曲です。練習するにあたって、意見が合わず、壁にぶつかってしまうこともありましたが、しかし、クラスの皆が昼休み以外でも、家や休み時間などで時間を見つけ練習を頑張ってくれました。全員が温かくて、常に前へと向かっていく、まさに3年2組のような曲です。この曲を完成できたのは、1つ1つ丁寧に教えて下さった先生方、そして、2組を一番応援してくれている担任の飯塚先生のおかげです。みんなに感謝の気持ちを込めて、一生懸命歌います。

No.5 5組 「信じる」 指揮：柏崎蒼虎 伴奏：秋元りょう



<曲紹介>

私たちは、自分や仲間を“信じて”この曲を歌います。この曲を通して“信じる”ことに真剣に向き合ったからこそ、歌詞の通り、“信じることに理由はいらない”ことや合唱の楽しさ、信じることの難しさをたくさん実感しました。信じてくれる人を信じて、互いに信じ合えるクラスを作り、“信じる”という言葉に一人一人の想いを詰めました。自分たちの限界を超え、更に上へと目指すために、この合唱を通して卒業まで信じ合うクラスにしていきます。信じることは難しく、時間がかかるもの。しかし、一度信じたものならば信じ続けることができるのではないのでしょうか。信じ合える仲間がいる幸せを噛みしめて、自分たちにとっての意味のある合唱を作りました。5組の“信じる”への想い、“最響の絆”をどうぞお聴きください。

No.6 3組 「虹」 指揮：杉内遥哉 伴奏：日野寛太



<曲紹介>

虹を見かけたとき、皆さんは何を思いますか？この「虹」という曲は、自分の中にある弱さや将来への不安、そういったものたちと向き合いながら未来に向かって共に進んでいこうという曲です。特にサビで登場する「僕らの出会いを誰かが別れと呼んだ」「僕らの別れを誰かが出会いと呼んだ」という部分は、クラスで何度も何度も議論を重ねました。このクラス、この学年みんなとも出会った瞬間から別れというものがある。反対に、別れがあれば新たな出会いがある。だからこそ、3年3組の仲間たちとのこの何気ない日常や出会いを噛みしめながら、本気で歌おうという話をしました。石橋中学校に「虹」が架かるよう、全力で歌います。ぜひ、歌詞に注目してお聴き下さい。

<その他>



校歌斉唱



実行委員の皆さん、準備から当日の運営まで本当にお疲れ様でした。そして、3学年の皆さん、感動をありがとうございました。